

＜広域化・共同化で技術研修会＞

コンクリートの防食技術紹介も

広域化・共同化で技術研修会

水コン協 コンクリートの防食技術紹介も

全国上下水道コンサル
タント協会はこのほど、
「広域化・共同化」をテ
マに、技術研修会をウ
ェブナー形式で開いた。都
道府県は今年度末までに
水道事業の広域連携に向
けた「水道広域化推進プ
ラン」、下水道事業の「広
域化・共同化計画」を策
定するよう要請されてお
り、策定支援にあたる水

コンサルタントには、さ
まざまな観点での分析に
加え、地域の実情や歴史
的経緯、関連する計画を
踏まえた上での検討が求
められている。会員企業
の講師が講演し、実際の
業務で得た知見や工夫な
ど、策定支援に役立つ情
報を共有。特別講演で
は、広域化・共同化に伴
う上下水道施設のコンク

リート構造物への影響を
話題に取り上げた。
水道事業の広域化と官
民連携について日水コン
の大隅良也氏は、群馬東
部水道企業団と群馬東
部水道サービスの設立に至
るまでの検討内容を紹
介。官民連携は広域化に
伴う事業領域の拡張と事
業管理の多様化に対応す
るための有効な手段であ

り、広域化パターンと官
民連携スキームを研究
し、最適にマッチングす
ることがより高い効果の
収穫につながるとした。
下水道事業は、東京設
計事務所の中倉弘勝氏
が、下水道広域化推進総
合事業（旧MICS）の
活用により、処理場の施
設増設に合わせて、し尿
や浄化槽・農業集落排水
などの濃縮汚泥を下水道
で集約処理する計画を検
討した事例を紹介。NJ
Sの甘長准氏は、し尿・
浄化槽汚泥を投入した下
水処理場における投入前

の影響検討と投入後の処
理機能の追跡調査つい
て、日本水工設計の村上
広氏は、島根県の雲南広
域連合における下水汚泥
等の広域・共同処理の事
例を紹介した。
特別講演では、日本コ
ンクリート防食協会の藤
澤健一氏が、上下水道施
設のコンクリート劣化事
例と劣化機構、期待耐用
年数やライフサイクルコ
ストを向上させる防食技
術について説明した。下
水処理場では、汚泥系施
設で発生する有機酸や反
応タンクで発生する二酸

化炭素、硫化水素に起因
する硫酸などがコンク
リートを劣化させる。ま
た浄水場では、カルシウ
ムの溶脱や、コンクリー
トに浸透した炭酸水や塩
素水等で骨材に生じる錆
による劣化などがあり、
原因や環境に応じ効果的
な防食防水工法を選択す
ることで、水道施設で30
年、下水道施設で50年の
耐久性も期待できるとし
た。